

日本語教員養成課程（副専攻） 別表 1

5区分	16下位区分	必須の教育内容（50区分）	学年	区分	授業名（仮含む）	単位	備考
A. 社会・文化・地域	①世界と日本	(1)世界と日本の社会と文化	1	教養	日本事情	2	左記3科目中から2科目4単位を取得のこと
A. 社会・文化・地域	①世界と日本	(1)世界と日本の社会と文化	2	共通	アジア事情	2	
A. 社会・文化・地域	①世界と日本	(1)世界と日本の社会と文化	1	教養	比較文明論	2	
A. 社会・文化・地域	②異文化接触	(2)日本の在留外国人施策 (3)多文化共生(地域社会における共生)	1	共通	グローバル市民教育論A	2	こちらの科目群についてはすべて履修・単位取得すること
D. 言語と教育	⑪異文化間教育とコミュニケーション教育	(32) 異文化間教育 (33) 異文化コミュニケーション (34) コミュニケーション教育	1	共通	グローバル市民社会論B	2	
A. 社会・文化・地域	③日本語教育の歴史と現状	(4)日本語教育史 (5)言語政策 (6)日本語の試験 (7)世界と日本の日本語教育事情	1	共通	言語教育史	2	
C. 言語と心理	⑧言語習得・発達	(16) 習得過程（第一言語・第二言語） (17) 学習ストラテジー					
C. 言語と心理	⑦言語理解の過程	(14) 談話理解 (15) 言語学習					
B. 言語と社会	⑥異文化コミュニケーションと社会	(13) 多文化・多言語主義	1	教養	英語と多角的言語世界	2	
E. 言語	⑮言語研究						
C. 言語と心理	⑨異文化理解と心理	(18)異文化受容・適応 (19)日本語の学習・教育の情意的側面	1	専門	異文化の理解と交流	2	
D. 言語と教育	⑩言語教育法・実習	(20)日本語教師の資質・能力 (21)日本語教育プログラムの理解と実践 (22)教室・言語環境の設定 (23)コースデザイン (24)教授法 (25)教材分析・作成・開発 (26)評価法 (27)授業計画 (29)中間言語分析 (30)授業分析・自己点検能力 (31)目的・対象別日本語教育法	2	共通	日本語演習A	2	
D. 言語と教育		(35) 日本語教育とIT (36) 著作権	2	共通	日本語演習B	2	
D. 言語と教育	⑫言語教育と情報						
D. 言語と教育	⑩言語教育法・実習	(28)教育実習	2	共通	日本語実習	2	
B. 言語と社会	④言語と社会の関係	(8)社会言語学 (9)言語政策と「ことば」	1	教養	言語学	2	
B. 言語と社会	⑤言語使用と社会	(10)コミュニケーションストラテジー (11)待遇・敬意表現 (12)言語・非言語行動					
E. 言語	⑬言語の構造一般	(37) 一般言語学 (38) 対照言語学					
E. 言語	⑭日本語の構造	(39) 日本語教育のための日本語分析 (40) 日本語教育のための音韻・音声体系 (41) 日本語教育のための文字と表記 (42) 日本語教育のための形態・語彙体系 (43) 日本語教育のための文法体系 (44) 日本語教育のための意味体系 (45) 日本語教育のための語用論的規範	1	教養	日本語概論	2	
E. 言語	⑯コミュニケーション能力	(46) 受容・理解能力 (47) 言語運用能力 (48) 社会文化能力 (49) 対人関係能力 (50) 異文化調整能力	2	専門	コミュニケーション	2	
						26	

※ 左側の3列の区分は、文化審議会国語分科会「日本語教育人材の養成・研修の在り方について」（平成30年3月2日）表9に示す内容との対応を示す。

※ 項目との対応は、基本的なものを示す。重要な項目については、他の授業でも復習等を兼ねて触れる場合がある。

※ A、Bと分かれている科目では、両者を合わせて、対応する項目の内容を取り扱う。